



# 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名 名古屋鉄道株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 9048 URL <http://www.meitetsu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山本 亜土  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長 (氏名) 後藤 卓郎 TEL (052) 588-0846  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	278,194	△ 4.3	10,772	△ 21.9	8,496	△ 26.7	1,223	△ 71.0
23年3月期第2四半期	290,739	△ 1.1	13,785	108.9	11,586	185.7	4,220	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 324百万円 (— %) 23年3月期第2四半期 △ 5,308百万円 (— %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1.39	1.31
23年3月期第2四半期	4.80	4.48

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,134,133	201,107	16.3
23年3月期	1,149,355	202,017	16.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 184,429百万円 23年3月期 185,835百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 現時点では、平成24年3月期の期末配当予想額は未定です。

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	603,000	△ 1.1	25,700	△ 7.9	20,200	△ 12.5	7,700	△ 14.2	8.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 - 社 ( ) 、除外 - 社 ( )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	881,584,825 株	23年3月期	881,584,825 株
24年3月期2Q	2,381,719 株	23年3月期	2,352,501 株
24年3月期2Q	879,222,393 株	23年3月期2Q	879,377,951 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信に添付しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
決算説明資料	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災による悪化からは回復傾向にあるものの、円高の継続や世界経済の減速が懸念されており、先行き不透明な状況で推移しました。こうした状況下、当社及び当社グループの各事業部門は積極的な営業活動と経営の合理化に努めました結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は2,781億94百万円(前年同期比4.3%減)となり、営業利益は107億72百万円(前年同期比21.9%減)、経常利益は84億96百万円(前年同期比26.7%減)、四半期純利益は12億23百万円(前年同期比71.0%減)となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

#### ①(交通事業)

鉄軌道事業については、当社では、通勤型車両4000系4両を導入し車両の更新を行うとともに、安定的な列車運行と事故・災害時の対応力強化を図るため、名古屋本線神宮前駅東口において「鉄道業務棟」の建設を進めました。また、ICカード「manaca」と東海旅客鉄道(株)の「TOICA」等との相互利用対応のため、関連するシステム等の開発及び改修を進めました。このほか、今年で開催5年目を迎えた「ポケモンスタンプラリー」についても、ゲーム内容のリニューアルを行うなど活性化を図るとともに、沿線自治体とのタイアップ企画を積極的に展開するなど旅客需要の喚起に努めました。

バス事業については、名鉄バス(株)では、空気中の除菌・脱臭効果がある「プラズマクラスターイオン発生機」の全高速バス車両への導入などを進めたほか、ダイヤ改正等により利便性を高め、高速バス事業における競争力向上に努めました。

タクシー事業については、本年4月に、名古屋市周辺を営業エリアとするタクシー会社3社を傘下に持つ中間持株会社、名鉄タクシーホールディングス(株)を設立し、ブランドの統一をはじめとした当該3社間の連携強化並びに経営の効率化により、競争力のある事業体制の構築を図りました。

しかしながら、貸切バス部門を中心に震災による出控えの影響を大きく受けたほか、燃料費やICカード関連費用の増加もあり、交通事業の営業収益は779億46百万円(前年同期比2.3%減)となり、営業利益は60億30百万円(前年同期比12.8%減)となりました。

#### ②(運送事業)

トラック事業については、名鉄運輸(株)グループにおいて震災の被害を受けた子会社の収入が前年同期比で大きく落ち込んでいるほか、貨物輸送運賃の下落等もあり、全体では減収となりました。

海運事業については、仙台港を発着する太平洋フェリー(株)において復興関連輸送の需要が増加したほか、震災以降休止していた一般旅客営業についても6月より全面的に再開し、本年3月に竣工した新船「いしかり」のPRをはじめとした旅客利用促進策を積極的に行うなど、収入の回復を図りました。

この結果、運送事業の営業収益は668億76百万円(前年同期比0.5%減)となり、燃料費の増加のほか業務委託料の増加などもあり、営業利益は24億40百万円(前年同期比26.6%減)となりました。

#### ③(不動産事業)

不動産賃貸業については、当社では、昨年に引き続き名古屋駅前のオフィスビル「名古屋クロスコートタワー」の建設を(株)中部経済新聞社などと共に進めました。また、岐阜市徹明通の旧岐阜メルサ・ファッション館に(株)ドン・キホーテの総合ディスカウントストア「ドン・キホーテ柳ヶ瀬店」がオープンするなど、保有不動産の有効活用を図りました。

不動産分譲業については、当社が一昨年より販売を開始した分譲団地「名鉄 陽なたの丘」の販売が引き続き好調に推移したものの、分譲マンションの販売引渡戸数は前年同期に比べ減少しました。

この結果、不動産事業全体の営業収益は296億53百万円(前年同期比19.5%減)となり、営業利益は24億92百万円(前年同期比22.5%減)となりました。

#### ④(レジャー・サービス事業)

ホテル業については、「名鉄ニューグランドホテル」では、開業以来初となる全面的な改装を実施し、フォーマルなシーンにもご活用いただけるようホテル全体のイメージを一新することで、新規顧客の取り込みを図りました。

旅行業では、当社・名鉄観光バス(株)・名鉄観光サービス(株)が共同で名鉄グループ旅行情報サイト「Mたび」をオープンし、当該3社が取り扱う旅行商品のインターネット販売を強化しました。

観光施設については、「野外民族博物館 リトルワールド」において、同館初となる大型特別展「謎のアンデス文明 5000年展ー一時空を超えたモノ語りー」を開催し、新規来館者やリピーターの獲得に努めました。

しかしながら、レジャー・サービス事業全体では、震災による旅行のキャンセルや出控えに加え、天候不順の影響があつ

たほか、E T C休日割引制度の廃止によるハイウェイレストランでの減収もあり、営業収益は262億60百万円（前年同期比7.1%減）となり、営業損益は前年同期に比べ5億82百万円収支悪化し5億37百万円の損失となりました。

#### ⑤（流通事業）

百貨店業については、「名鉄百貨店本店」では、旧ヤング館への(株)ヤマダ電機「L A B I名古屋駅前店（仮称）」出店準備に伴う売り場面積縮小もあり前年同期比で減収となりましたが、同百貨店では旧ヤング館の人気ブランドを集約し、20～30代の女性をターゲットにした売り場「M A I S O N d e N a n a（メゾン・ドゥ・ナナ）」を本館に新設するなど、お買い物の利便性と収益性の向上を図りました。また、原油価格の上昇及び販売量の増加により石油製品販売において前年同期比で増収となったほか、輸入車販売も好調に推移しました。

流通事業全体では、一部の会社で決算期変更を行った影響もあり、営業収益は678億14百万円（前年同期比0.5%増）となり、営業損失は前年同期に比べ1億63百万円収支改善し5億20百万円となりました。

#### ⑥（その他の事業）

その他の事業については、当社では、「m a n a c a」電子マネーポイントサービス「名鉄たまルン」の入会キャンペーンや積極的な新規加盟店の開拓を行ったほか、全日本空輸(株)とのポイント相互交換サービスを開始しました。さらに、名古屋駅周辺の飲食店とタイアップしたイベントを開催するなど、「m a n a c a」利用者の増加と「名鉄たまルン」入会者の獲得に努めました。

名鉄協商(株)では、名古屋市内を中心に展開するカーシェアリングサービス「カリテコ」のステーション拡大を進めるとともに、サービス利用時のICカードキーとして「m a n a c a」を利用可能とするなど、利便性を高めました。また、首都圏の大手カーシェアリング事業者と業務提携を行うなど、会員の多様なニーズに応えられる体制を整えるとともに、新たな利用者の取込みを図りました。

その他の事業全体では、設備工事において受注が減少したことなどにより、営業収益は299億84百万円（前年同期比6.3%減）となり、営業利益は4億65百万円（前年同期比46.3%減）となりました。

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末においては、総資産が前連結会計年度末に比べ152億21百万円減少しております。これは主として、未収債権の回収などにより受取手形及び売掛金が98億16百万円、減価償却などにより有形固定資産が全体で51億59百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

負債の部は前連結会計年度末に比べ143億12百万円減少しております。これは主として、工事負担金等前受金を含む流動負債その他が81億89百万円増加した一方で、支払等により支払手形及び買掛金が186億49百万円、有利子負債が全体で29億63百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

また、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ4億67百万円増加し、85億69百万円となりました。営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が悪化したことに加え、たな卸資産の増減額が増加したことなどにより前年同期に比べ105億81百万円減少し181億41百万円となり、投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出が減少したことなどにより122億98百万円増加し△92億32百万円となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ長期借入金の返済による支出が増加したことなどにより9億4百万円減少し、△84億41百万円となりました。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済情勢につきましては、東日本大震災による景気の大幅な落ち込みからは持ち直しているものの、歴史的な円高水準や海外経済の減速が懸念されております。当社グループの主要営業エリアである東海地方においても、企業の生産や個人消費は回復基調にあるものの、景気の先行きは不透明な状況であります。

現時点での通期の業績予想については、第2四半期までの業績も踏まえ、全社的な諸経費の削減効果も表れていることなどから、営業収益は6,030億円（前期比1.1%減）、営業利益は257億円（前期比7.9%減）、経常利益は202億円（前期比12.5%減）、当期純利益は77億円（前期比14.2%減）と、平成23年8月8日発表時からそれぞれ見直いたします。また、個別の通期業績予想についても、営業収益は978億円（前期比0.5%増）、営業利益は119億円（前期比2.9%増）、経常利益は81億円（前期比5.2%増）、当期純利益は29億円（前期比19.7%減）と、平成23年5月11日発表時からそれぞれ見直いたします。

上記の予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「企業会計基準第24号 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成21年12月4日）及び「企業会計基準適用指針第24号 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,925	9,423
受取手形及び売掛金	58,233	48,417
短期貸付金	9,536	9,134
分譲土地建物	77,634	78,452
商品及び製品	7,896	7,471
仕掛品	468	1,010
原材料及び貯蔵品	4,027	3,966
繰延税金資産	5,718	5,923
その他	10,040	12,697
貸倒引当金	△467	△370
流動資産合計	182,015	176,126
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	348,780	341,172
機械装置及び運搬具(純額)	71,605	66,500
土地	374,387	373,949
リース資産(純額)	6,742	9,098
建設仮勘定	36,547	43,041
その他(純額)	10,192	9,334
有形固定資産合計	848,255	843,095
無形固定資産		
のれん	241	156
リース資産	1,773	1,593
その他	13,928	10,881
無形固定資産合計	15,944	12,631
投資その他の資産		
投資有価証券	72,776	71,650
長期貸付金	457	387
繰延税金資産	12,967	13,429
その他	18,681	18,410
貸倒引当金	△1,742	△1,597
投資その他の資産合計	103,140	102,280
固定資産合計	967,340	958,007
資産合計	1,149,355	1,134,133

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,219	53,569
短期借入金	196,818	201,104
1年内償還予定の社債	34,773	34,773
リース債務	1,902	2,687
未払法人税等	2,768	3,162
繰延税金負債	—	6
従業員預り金	18,939	18,678
賞与引当金	5,226	5,650
商品券等引換引当金	2,039	1,876
その他	76,160	84,349
流動負債合計	410,848	405,859
固定負債		
社債	120,000	120,000
長期借入金	275,028	265,723
リース債務	7,243	8,773
繰延税金負債	4,855	4,753
再評価に係る繰延税金負債	72,944	73,040
退職給付引当金	30,892	30,098
役員退職慰労引当金	2,176	1,713
整理損失引当金	3,016	2,803
商品券等引換引当金	195	171
負ののれん	52	37
その他	20,084	20,050
固定負債合計	536,490	527,166
負債合計	947,338	933,025
純資産の部		
株主資本		
資本金	84,185	84,185
資本剰余金	18,428	18,428
利益剰余金	27,281	27,017
自己株式	△742	△745
株主資本合計	129,153	128,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,420	5,116
土地再評価差額金	50,319	50,484
為替換算調整勘定	△57	△58
その他の包括利益累計額合計	56,682	55,542
少数株主持分	16,182	16,678
純資産合計	202,017	201,107
負債純資産合計	1,149,355	1,134,133



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業収益	290,739	278,194
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	250,405	241,767
販売費及び一般管理費	26,548	25,653
営業費合計	276,954	267,421
営業利益	13,785	10,772
営業外収益		
受取利息	77	62
受取配当金	478	605
持分法による投資利益	1,067	651
雑収入	1,181	1,321
営業外収益合計	2,805	2,641
営業外費用		
支払利息	4,835	4,526
雑支出	168	390
営業外費用合計	5,003	4,917
経常利益	11,586	8,496
特別利益		
前期損益修正益	145	—
固定資産売却益	535	280
工事負担金等受入額	615	800
投資有価証券売却益	227	19
その他	623	301
特別利益合計	2,146	1,401
特別損失		
前期損益修正損	8	—
固定資産売却損	284	48
減損損失	722	3,379
固定資産除却損	225	161
工事負担金等圧縮額	532	738
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,322	—
その他	644	430
特別損失合計	3,738	4,758
税金等調整前四半期純利益	9,994	5,140
法人税、住民税及び事業税	3,917	3,331
法人税等調整額	1,516	112
法人税等合計	5,434	3,444
少数株主損益調整前四半期純利益	4,560	1,695
少数株主利益	339	472
四半期純利益	4,220	1,223

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,560	1,695
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△539	△1,334
繰延ヘッジ損益	0	—
土地再評価差額金	△9,184	—
為替換算調整勘定	△4	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△141	△35
その他の包括利益合計	△9,869	△1,370
四半期包括利益	△5,308	324
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,577	△81
少数株主に係る四半期包括利益	268	405

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,994	5,140
減価償却費	19,657	20,262
減損損失	722	3,379
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△371	△760
賞与引当金の増減額(△は減少)	523	375
その他の引当金の増減額(△は減少)	△1,316	△1,500
投資有価証券売却損益(△は益)	△199	55
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,322	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,072	1,870
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,912	△763
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,651	△6,903
法人税等の支払額	△2,139	△2,358
その他	194	△653
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>28,723</b>	<b>18,141</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△32,936	△26,352
固定資産の売却による収入	1,013	1,426
投資有価証券の取得による支出	△59	△746
投資有価証券の売却及び償還による収入	26	189
連結範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による収入	382	—
工事負担金等受入による収入	9,588	15,431
その他	454	818
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△21,530</b>	<b>△9,232</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	747	18,661
長期借入れによる収入	21,353	21,325
長期借入金の返済による支出	△27,412	△45,670
社債の発行による収入	—	14,911
社債の償還による支出	△25	△15,000
配当金の支払額	△1,313	△1,314
その他	△886	△1,353
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△7,537</b>	<b>△8,441</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△348	467
現金及び現金同等物の期首残高	8,008	8,102
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,660	8,569

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

## 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	運送事業	不動産事業	レジャー・サービス事業	流通事業	その他の事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書計上額 (注)3
営業収益									
外部顧客に対する営業収益	78,620	66,946	33,685	27,778	62,232	21,476	290,739	—	290,739
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,143	250	3,133	479	5,260	10,539	20,807	△ 20,807	—
計	79,764	67,197	36,818	28,257	67,492	32,015	311,547	△ 20,807	290,739
セグメント利益又は損失(△)	6,918	3,324	3,217	44	△ 684	866	13,688	96	13,785

(注)1. 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでおります。

設備の保守・整備、ビル管理メンテナンス業、保険代理店業等

2. セグメント利益又は損失の調整額96百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

## 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	運送事業	不動産事業	レジャー・サービス事業	流通事業	その他の事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書計上額 (注)3
営業収益									
外部顧客に対する営業収益	76,802	66,620	26,790	25,874	61,461	20,643	278,194	—	278,194
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,143	255	2,863	386	6,353	9,341	20,342	△ 20,342	—
計	77,946	66,876	29,653	26,260	67,814	29,984	298,537	△ 20,342	278,194
セグメント利益又は損失(△)	6,030	2,440	2,492	△ 537	△ 520	465	10,370	402	10,772

(注)1. 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでおります。

設備の保守・整備、航空事業、ビル管理メンテナンス業、保険代理店業等

2. セグメント利益又は損失の調整額402百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 決算説明資料

## 平成24年3月期第2四半期連結決算について

連結業績については回復傾向にあるものの、東日本大震災の余波が大きく、営業収益は前年同期比△4.3%の減収となり、営業利益は△21.9%、経常利益は△26.7%、四半期純利益は△71.0%のそれぞれ減益。**営業収益は4期連続の減収、営業利益・経常利益及び四半期純利益はそれぞれ2期ぶりの減益。**

## (連結業績関係)

<連結子会社数：136社（前期末比 +2社） 持分法適用会社数：15社（前期末比 -）>

(1) **営業収益 2,781億94百万円 前年同期比△125億45百万円 △4.3%の減収**

分譲マンションの販売引渡戸数が前年同期に比し減少した不動産事業をはじめ、流通事業を除く各事業で減収。

(2) **営業費 2,674億21百万円 前年同期比△95億32百万円 △3.4%の減**

原油価格の上昇等に伴う燃料費の増加があったものの、売上減に伴う商製品販売原価の減少や昨年に引き続き全社的な経費の削減に取り組んだこともあり、減少。

(3) **営業利益 107億72百万円 前年同期比△30億12百万円 △21.9%の減益**

## (主な事業別)

交通事業では、貸切バス部門を中心に震災による出控えが大きく影響し減収。諸経費の削減に努めたものの、燃料費やICカード関連費用の増加もあり、減益。

運送事業では、震災復興に係る輸送需要の増加があったものの減収、燃料費をはじめとする諸経費の増加もあり、減益。

不動産事業では、当社の分譲団地販売が引き続き好調に推移しているものの、分譲マンションの販売引渡戸数が減少したため、減収・減益。

レジャー・サービス事業では、震災による出控え等の影響に加え、高速道路の休日割引廃止等に伴うハイウェイレストランでの減収もあり、減収・減益。

流通事業では、名鉄百貨店本店の売り場面積縮小があった一方、石油販売事業や輸入車販売が好調に推移し、一部の会社で決算期変更を行ったこともあり増収、僅かながら収支改善。

(4) **経常利益 84億96百万円 前年同期比△30億89百万円 △26.7%の減益**

営業外損益は、持分法による投資利益の減少等により、△77百万円悪化。

(5) **四半期純利益 12億23百万円 前年同期比△29億97百万円 △71.0%の減益**

特別損失は、減損損失が大幅に増加したことなどから、10億19百万円増加。法人税等調整額を含む税金費用を差し引いた四半期純利益は減益。

## ①連結業績

科 目	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	増減金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
営業収益	290,739	278,194	△ 12,545	△ 4.3
営業費	276,954	267,421	△ 9,532	
営業利益	13,785	10,772	△ 3,012	△ 21.9
営業外収益	2,805	2,641	△ 163	
営業外費用	5,003	4,917	△ 86	
経常利益	11,586	8,496	△ 3,089	△ 26.7
特別利益	2,146	1,401	△ 745	
特別損失	3,738	4,758	1,019	
税金等調整前四半期純利益	9,994	5,140	△ 4,854	△ 48.6
法人税、住民税及び事業税	3,917	3,331	△ 586	
法人税等調整額	1,516	112	△ 1,403	
少数株主損益調整前四半期純利益	4,560	1,695	△ 2,864	△ 62.8
少数株主利益	339	472	132	
四半期純利益	4,220	1,223	△ 2,997	△ 71.0

## ②連結業績の推移

	営業収益	営業利益	経常利益	純利益	純資産	連結 子会社数
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	社
19年9月中間期	347,997	17,570	14,987	△ 4,002	205,902	164
21年3月期第2四半期	324,140	12,670	9,810	3,945	209,521	154
22年3月期第2四半期	294,105	6,600	4,055	△ 1,036	198,752	146
23年3月期第2四半期	290,739	13,785	11,586	4,220	199,579	137
24年3月期第2四半期	278,194	10,772	8,496	1,223	201,107	136

## ③セグメント別営業成績

		交通	運送	不動産	レジャー・サービス	流通	その他	計	調整額	連結
		百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
当第2四半期 累計期間	営業収益	77,946	66,876	29,653	26,260	67,814	29,984	298,537	△ 20,342	278,194
	営業費	71,915	64,435	27,161	26,798	68,335	29,519	288,166	△ 20,744	267,421
	営業利益	6,030	2,440	2,492	△ 537	△ 520	465	10,370	402	10,772
前第2四半期 累計期間	営業収益	79,764	67,197	36,818	28,257	67,492	32,015	311,547	△ 20,807	290,739
	営業費	72,845	63,872	33,601	28,213	68,177	31,149	297,859	△ 20,904	276,954
	営業利益	6,918	3,324	3,217	44	△ 684	866	13,688	96	13,785
差 額	営業収益	△ 1,818	△ 321	△ 7,164	△ 1,996	322	△ 2,030	△ 13,010	465	△ 12,545
	増減率(%)	△ 2.3	△ 0.5	△ 19.5	△ 7.1	0.5	△ 6.3	△ 4.2	-	△ 4.3
	営業費	△ 929	562	△ 6,439	△ 1,414	158	△ 1,629	△ 9,692	159	△ 9,532
	営業利益	△ 888	△ 884	△ 725	△ 582	163	△ 401	△ 3,317	305	△ 3,012
	増減率(%)	△ 12.8	△ 26.6	△ 22.5	-	-	△ 46.3	△ 24.2	-	△ 21.9

## ④連結貸借対照表

科 目	前 期 末	当 第 2 四 半 期 末	増減金額
流 動 資 産	182,015	176,126	△ 5,889
固 定 資 産	967,340	958,007	△ 9,332
資 産 合 計	1,149,355	1,134,133	△ 15,221
流 動 負 債	410,848	405,859	△ 4,988
固 定 負 債	536,490	527,166	△ 9,323
負 債 合 計	947,338	933,025	△ 14,312
純 資 産 合 計	202,017	201,107	△ 909
負 債 純 資 産 合 計	1,149,355	1,134,133	△ 15,221

## ⑤連結有利子負債残高

	前 期 末	当 第 2 四 半 期 末	増減金額
連 結 有 利 子 負 債 残 高	654,705	651,741	△ 2,963

(注) リース債務を含む。

## ⑥減価償却費

	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	増減金額
減 価 償 却 費	19,657	20,262	604

## (個別業績関係)

## ①個別業績

科目	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	増減金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
営業収益	49,154	49,431	277	0.6
営業費	42,206	42,908	702	
営業利益	6,948	6,522	△425	△6.1
営業外収益	2,519	3,400	880	
営業外費用	3,769	3,904	135	
経常利益	5,698	6,018	319	5.6
特別利益	552	727	175	
特別損失	3,098	3,585	486	
税引前四半期純利益	3,152	3,161	8	0.3
法人税、住民税及び事業税	770	685	△84	
法人税等調整額	1,078	847	△230	
四半期純利益	1,303	1,627	324	24.9

## ②個別業績の推移

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益又は 四半期純損失(△)
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年9月中間期	52,613	10,410	9,560	1,877
21年3月期第2四半期	51,532	7,785	7,372	3,848
22年3月期第2四半期	48,591	3,520	2,565	△843
23年3月期第2四半期	49,154	6,948	5,698	1,303
24年3月期第2四半期	49,431	6,522	6,018	1,627

## ③運輸成績(個別)

科目	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	増減率
	百万円	百万円	%
旅客収入			
定期外	22,056	21,809	△1.1
定期	17,285	17,627	2.0
計	39,341	39,436	0.2
	千人	千人	%
輸送人員			
定期外	59,079	57,055	△3.4
定期	115,149	117,661	2.2
計	174,228	174,716	0.3

(注) 定期外旅客収入には特別車両料金を含む。



## ④個別貸借対照表

科目	前 期 末	当 第 2 四 半 期 末	増減金額
	百万円	百万円	百万円
流 動 資 産	34,881	24,010	△ 10,870
固 定 資 産	767,655	758,324	△ 9,331
資 産 合 計	802,537	782,335	△ 20,201
流 動 負 債	215,430	204,583	△ 10,846
固 定 負 債	425,940	417,288	△ 8,652
負 債 合 計	641,371	621,872	△ 19,499
純 資 産 合 計	161,165	160,462	△ 702
負 債 純 資 産 合 計	802,537	782,335	△ 20,201

## ⑤個別有利子負債残高

	前 期 末	当 第 2 四 半 期 末	増減金額
	百万円	百万円	百万円
個 別 有 利 子 負 債 残 高	487,294	476,735	△ 10,558

## 平成24年3月期通期の業績予想について

## ①連結業績予想

今後の経済情勢については、震災直後の大幅な落ち込みからは回復に向かっているものの、円高の継続や世界経済の悪化などが懸念され、先行き不透明な状況である。

当社グループの連結業績については、東日本大震災の影響により大幅な収支悪化が懸念されていたが、当初の想定を上回る水準で持ち直しつつある。下半期での大幅な収入回復は期待できない見通しであるが、利益面では全社的に取り組んでいる諸経費の削減効果も表れている。

これらの経済動向及び第2四半期の業績等を踏まえて、平成24年3月期通期の業績予想を下記のとおり見直す。

科目	今回予想	前回予想 (8月8日時点)	対前回予想 増減率	23.3期実績	対前期 増減率
営業収益	603,000 <small>百万円</small>	604,000 <small>百万円</small>	△ 0.2 %	609,716 <small>百万円</small>	△ 1.1 %
営業利益	25,700	22,700	13.2	27,891	△ 7.9
経常利益	20,200	16,800	20.2	23,086	△ 12.5
当期純利益	7,700	7,000	10.0	8,978	△ 14.2

## ②連結有利子負債残高の見込み

	今回予想	前回予想 (5月11日時点)	対前回予想 増減率	23.3期実績	対前期 増減率
連結 有利子負債残高	635,000 <small>百万円</small>	650,000 <small>百万円</small>	△ 2.3 %	654,705 <small>百万円</small>	△ 3.0 %

(注) リース債務を含む。

## ③個別業績予想

科目	今回予想	前回予想 (5月11日時点)	対前回予想 増減率	23.3期実績	対前期 増減率
営業収益	97,800 <small>百万円</small>	97,900 <small>百万円</small>	△ 0.1 %	97,268 <small>百万円</small>	0.5 %
営業利益	11,900	10,700	11.2	11,565	2.9
経常利益	8,100	6,100	32.8	7,696	5.2
当期純利益	2,900	1,100	163.6	3,610	△ 19.7

## ④1株当たり配当金

	今回予想	前回予想 (5月11日時点)	23.3期実績
第2四半期	0.00 <small>円</small>	0.00 <small>円</small>	0.00 <small>円</small>
期末	未定	未定	1.50
年間	未定	未定	1.50